

社団法人 石油学会

平成19年度 事業報告

1. 庶務事項

平成19年5月17日就任の新役員の登記手続きは6月に終了した。

2. 会員数の状況

平成19年度末（平成20年3月31日）と前年度末の会員数を比較すると次表のとおりである。

項目 会員別	平成19年 3月31日現在	平成19年度会員数の増減			平成20年 3月31日現在
		増	減	増または減	
名誉会員	29	2	3	△1	28
普通会員	3254	135	215	△80	3174
学生会員	244	99	148	△49	195
小計	3527	236	366	△130	3397
維持会員					
1級	21	0	1	△1	20
2級	9	0	0	0	9
3級	43	0	2	△2	41
4級	29	2	0	2	31
5級	179	10	1	9	188
小計	281	12	4	8	289
公共会員	25	0	0	0	25
総合計	3833	248	370	△122	3711

3. 会務の会合

平成19年度の各種会合数は次表のとおりである。

会 合 名	数	会 合 名	数
通常総会	1	資源部会 (含幹事会)	2
評議員会	1	埋蔵量フォーラム	1
理事会	4	精製部会	12
顧問会	1	石油化学部会 (含勉強会)	3
運営会議	5	製品部会	3
財務委員会	1	ガソリン分科会	25
役員等候補者選定委員会	1	燃料油分科会	20
研究助成委員会	1	潤滑油分科会	18
職員人事委員会	4	絶縁油分科会	21
支部長会議	1	アスファルト分科会	8
広報委員会 (含情報専門委員会)	4	試験分析分科会	7
刊行委員会	1	装置部会	10
ペトロテック編集委員会	11	設備維持規格委員会 (含分科会)	36
Working Group 委員会	55	機器分科会	9
論文誌編集委員会 (含小委員会)	7	配管分科会	11
研究・技術企画委員会 (含小委員会)	3	設備保全分科会	5
国際委員会	1	計装分科会	19
海外協力分科会	4	電気分科会	15
表彰委員会	2	保安分科会	1
表彰推薦委員会	1	経営情報部会 (含WG)	24
表彰選考委員会 (含小委員会)	7	新エネルギー部会	4
教育委員会	4	水素・燃料電池分科会	4
創立50周年記念事業実行委員会	2	溶接士検定委員会	4
記念事業小委員会	20	標準試料委員会	3
記念事業G委員会	3	設備維持管理士認定委員会	12
		合 計	422

4. 講演会, 討論会, 研究発表会ならびに見学会等の実施

月	日	曜	名 称	開催地	講演数	参加者
平成 19 年						
4	27	金	第 9 回配管分科会セミナー	東京	5	83
5	17	木	第 48 回通常総会, 第 50 回年会—受賞講演, 特別講演, 懇親会	東京	9	285
	18	金	受賞講演, 第 56 回研究発表会, 第 12 回 JPIJS ポスターセッション		95	
6	8	金	第 27 回絶縁油分科会研究発表会	京都	9	115
7	6	金	新エネルギー部会講演会「サステイナブル社会を支える新燃料の技術開発—輸送用新燃料の展望と技術開発動向—」	東京	9	104
7	20	金	資源講演会「石油開発をとりまく環境と新たな取組み」	東京	7	53
9	28	金	第 7 回 回転機研究討論会	東京	7	182
10	12	金	平成 19 年度 精製講演会	東京	7	163
10	25	木	札幌大会	札幌 室蘭	194	407
	26	金	(特別講演, 招待講演, 第 37 回石油・石油化学討論会, 懇親会)			
	27	土	札幌大会—見学会			22
11	11 12	日 月	第 17 回日本—サウジアラビア合同セミナー	ダハラン市	7	120
11	29 30	木 金	2007 石油製品討論会 「最新の環境対応石油製品開発動向と分析評価技術の進展」	東京	21	195
12	3	月	第 16 回触媒シンポジウム「バイオマスから化学製品の製造」	東京	5	50
12	11 12	火 水	第 38 回装置研究討論会 「設備の信頼性向上と工事管理の取組」	東京	11	177
平成 20 年						
1	21	月	設備維持規格講習会 (回転機)	東京	5	22
1	21	月	設備維持規格講習会 (計装)	東京	2	22
1	22	火	設備維持規格講習会 (電気)	東京	3	17
1	22	火	設備維持規格講習会 (配管・設備)	東京	4	37
1	22 23	火 水	第 9 回日本—クウェート研究交流	アハマディ 市	5	110
1	24	木	日本—クウェート燃料電池合同セミナー	アハマディ 市	4	75
1	28	月	設備維持規格講習会 (回転機)	大阪	5	15
1	28	月	設備維持規格講習会 (計装)	大阪	2	27
1	28	月	設備維持規格講習会 (電気)	大阪	3	17
1	28	月	第 8 回電気研究討論会「電気設備のトラブル事例と考察」	東京	8	122
1	29	火	設備維持規格講習会 (配管・設備)	大阪	4	47
2	1	金	第 33 回精製パネル討論会	東京	3	158
2	17	日	2007 年度設備維持管理士認定試験 (配管・設備)	東京	—	76
				大阪		81
2	17	日	2007 年度設備維持管理士認定試験 (電気設備)	東京	—	30
				大阪		27
2	17	日	2007 年度設備維持管理士認定試験 (回転機)	東京	—	36
				大阪		30

2	17	日	2007年度設備維持管理士認定試験(計装設備)	東京 大阪	—	56 43
3	5	水	第25回計装研究討論会	東京	6	171

5. 研究助成

平成20年度の助成は下記のとおり、若手研究者2名に決定した。

- (1) 「非化学量論酸化物の酸化を利用した炭化水素の酸化的改質反応の常温駆動に関する研究」
(助成額 80万円) 大分大学工学部応用化学科 准教授 永岡 勝俊氏
- (2) 「遺伝子工学的手法を用いたメタン水酸化活性機能を有するタンパク質の合成」
(助成額 70万円) 東京工業大学大学院総合理工学研究科 助教 宮地 輝光氏

6. 会務部門

(1) 支部活動

北海道、東北、東海、関西、中国・四国、九州・沖縄の6支部があり、活動は次表のとおりである。

年	月	日	名 称	開催地	講演数	参加者
北海道支部						
19	7	21	日本化学会北海道支部夏季研究発表会共催	旭川	154	272
	12	5	触媒学会北海道地区札幌講演会共催	札幌	5	65
	12	10	第8回北海道支部講演会 (日本エネルギー学会北海道支部共催)	苫小牧	2	99
20	1	29	第8回北海道支部研究発表会 (日本エネルギー学会北海道支部共催)	札幌	10	53
東北支部						
19	11	30	東北支部創立30周年記念第27回東北支部講演会	秋田	3	100
	12	1	テクニカルツアー		10	
	12	3	製油所見学会(新日本石油精製・仙台製油所)	仙台		44
	12	7	触媒学会東北地区触媒講演会共催	仙台	4	130
東海支部						
19	8	20	大学院生の製油所インターンシップ研修 (昭和四日市石油・四日市製油所)	四日市	—	2
		24				
	8	27	大学院生の製油所インターンシップ研修 (出光興産・愛知製油所)	知多	—	2
		31				
	8	27	大学院生の製油所インターンシップ研修 (コスモ石油・四日市製油所)	四日市	—	2
8	31	大学院生の製油所インターンシップ研修 (ジャパンエナジー・知多製油所)	知多	—	1	
12	6	製油所見学会(出光興産・愛知製油所)	知多	—	15	
関西支部						
19	5	30	関西支部研究機関・企業見学会及び交流会 (hidroエッジ, 堺LNG)	堺	—	19
	9	27	第15回関西支部学生企業見学会 (新日本石油精製・大阪製油所)	堺	—	18
	10	16	第14回関西支部セミナー	大阪	3	39

	12	7	第16回関西支部研究発表会 (日本エネルギー学会関西支部共催)	吹田	31	58
中国・四国支部						
19	8	6 10	学部・大学院生の製油所インターンシップ研修 (西部石油・山口製油所)	山陽小野田	—	2
	8	16 29	学部・大学院生の製油所インターンシップ研修 (太陽石油・四国事業所)	菊間	—	1
	8	20 24	学部・大学院生の製油所インターンシップ研修 (出光興産・徳山製油所)	周南	—	1
	8	20 24	学部・大学院生の製油所インターンシップ研修 (ジャパンエナジー・水島製油所)	倉敷	—	2
	8	20 24	学部・大学院生の製油所インターンシップ研修 (コスモ石油・坂出製油所)	坂出	—	2
	8 9	20 7	学部・大学院生の製油所インターンシップ研修 (三菱化学・水島事業所)	倉敷	—	1
	12	8	第27回中国・四国支部講演会	周南	6	50
20	2	8	第12回中国・四国支部技術交流会	水島	7	78
九州・沖縄支部						
19	4	28	第10回九州・沖縄支部講演会 —石油精製における触媒・装置・プロセス— (化学工学反応工学部会, 南九州化学工学懇話会共催)	鹿児島	4	35
	10	19	第11回九州・沖縄支部講演会 —ナノ材料の高度利用触媒技術— (触媒学会ナノ粒子研究会, 北九州学研共催)	北九州	3	50
	11	7	第12回九州・沖縄支部講演会 —燃料電池用水素製造触媒の最前線—	大分	3	50
20	2	1	第13回九州・沖縄支部講演会	宮崎	2	30

(2) 広報活動

- 1) 講演会、研究発表会等の学会活動を報道各社への紹介および広告拡大の検討を行った。
- 2) 学会行事等を中心に随時HPにて学会活動を紹介した。HPのリニューアルを9月に行った。

(3) ジュニア・ソサイアティ (JPIJS) の活動

- 1) 平成19年5月18日(金)開催の第56回研究発表会にあわせて、第12回ポスターセッションを開催した。
- 2) 平成19年10月26日(金)開催の大会に札幌大会あわせて、JS企画講演会を開催した。
- 3) ペトロテック各号に「JPIJSだより」として行事報告等を掲載した。
- 4) その他、全国においての活動は次のとおりである。

[北海道・東北地区]

- ・平成19年7月22日(日)、23日(月)に北海道・上川郡でオーロラセミナーを触媒学会北海道地区と共催した。
- ・平成20年2月8日(金)に産総研東北センターでJPIJS北海道・東北地区講演会を開催した。

[関東地区]

- ・平成19年11月14日(水)にコスモ石油中央研究所見学会を開催した。

[関西地区]

- ・平成19年7月20日(金), 21日(土)に神戸製鋼所加古川製鉄所, 関西熱化学山の家で「エネルギー・石油の未来を担う若手のためのコロキウム」を日本エネルギー学会関西支部・石油学会関西支部と共催した。

- ・平成20年3月5日(水)に京都で関西地区シンポジウムを開催した。

[九州地区]

- ・平成19年7月27日(金), 28日(土)に宮崎でシンポジウムを化学工学会九州支部若手の会と共催した。
- ・平成19年8月9日(木)に大分大学で「子どもサイエンス2007」を大分大学等と共催した。
- ・平成19年11月7日(水)に大分大学で「石油学会九州・沖縄支部第12回講演会, 大分大学工学部応用化学科・VBL特別講演会－燃料電池用水素製造触媒の最前線－」を共催した。

[研究会]

- ・平成19年8月7日(火)に宇都宮で「炭化水素の転換と水素・合成ガス製造」研究会がセミナーを開催した。
- ・平成20年3月5日(水)に「ナノ材料の創製と機能」研究会が, 石油学会関西地区シンポジウムを関西支部と共催した。

7. 学術刊行部門

- (1) 一般誌 (ペトロテック月刊) を発行し, 会員に配布したほか, 一部外部に頒布した。

- 1) 各月の主な内容は次表のとおりである。

	19年										20年			合計 件数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
時評	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
座談会	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	9	
一般総説・資料	10	6	7	9	10	9	10	8	9	8	10	6	102	
社会人ドクター	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
分析・評価技術入門	2	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	8	
燃料油添加剤	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
これも私の生きる道	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3	
私事白書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
辛口放談	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
英語酒飲み話2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
PECだより	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4	
JPIJSだより	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
各世代に聞く	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
ふるさと自慢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
今月の一口メモ	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	46	
新技術紹介	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	9	
新刊紹介・書評	1	1	2	1	1	1	0	2	0	1	0	1	11	
統計	1	1	1	1	1	1	12	1	1	1	1	1	23	
全頁数	80	76	76	88	82	80	78	82	78	76	78	78	952	

- 2) 特集記事を以下のとおり掲載した。

平成19年4月号「各用途における燃料電池」

平成19年10月号「バイオディーゼル燃料」

平成20年2月号「エネルギー貯蔵技術」

3) その他毎月、国内・海外の最近のニュース、解説記事、学会活動を報告する「学会の窓」を掲載した。また、弔辞、トピックス、論文誌掲載論文要旨などを適宜掲載した。

(2) 論文誌(隔月刊)を発行し、維持会員(467部)、公共会員(26部)および普通会員・学生会員の購読希望者(324部)に配布したほか、外部に各号53部を頒布し、国内に46部、海外に72部を寄贈している(平成20年3月末日現在)。平成19年度の掲載内容は次表のとおりである。また、J-Stage上で平成16年より本誌のオンライン公開を開始し、第46巻第1号～第51巻第2号までを公開している(平成20年5月1日現在)。過去1年間のアクセス件数は約30,000件(うち海外は約16,000件)となっている。平成19年8月よりオンライン投稿・審査を開始した。

巻数	50巻				51巻		合計
号数	3	4	5	6	1	2	6
総合論文	—	1	3	2	3	1	10
一般論文	8	5	3	5	3	5	29
ノート	—	—	—	1	1	1	3
技術報告	—	—	—	—	—	—	—
レター	—	1	1	—	—	—	2
投書	—	—	—	—	—	—	—
件数合計	8	7	7	8	7	7	44
全頁数	61	50	58	67	71	45	352

8. 研究・技術交流部門

(1) 表彰

石油学会表彰規程ならびに野口記念賞表彰規程により、学会賞4件、論文賞1件、技術進歩賞1件、奨励賞4名、功労賞11名、野口記念奨励賞1名の授賞を決定した(詳細は報告事項参照)。また、創立50周年を記念し、2社への感謝状贈呈を決定した。

(2) 教育委員会

石油に関する理解を深め石油に対する興味を高めてもらうため、大学生(院生を含む)、一般市民などを対象として、移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援の下に実施した。全国で18大学・機関、講義数57コマを実施した。本年度は市川市、およびさいたま市のそれぞれで市民講座も実施した。本年度の聴講延べ人数は約6,000人であった。

開始した平成9年度からの累計は総コマ数568コマ、聴講延べ人数約54,500人に達している。

(3) 受託業務

- 1) (株)石油産業技術研究所から①国産乗用車の運転性試験、②ディーゼル車の燃料供給システム調査について受託し、調査・試験を実施した。
- 2) (財)国際石油交流センターから「産油国石油精製技術等対策事業」として、①産油国研究者の受入、②産油国研究者との現地交流について受託し、調査・研究を実施した。

(4) 外部団体に対する協力

他学協会、その他の団体から事業の共催、協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

9. 部会部門

(1) 資源部会(地質、探鉱、開発、生産、環境)

- 1) 平成19年7月20日(金)に資源講演会「石油開発をとりまく環境と新たな取組み」を企画し、実施した。
 - 2) 平成19年10月25日(木)、26日(金)に開催された「第37回石油・石油化学討論会」において「石油・天然ガスの開発」のセッションを企画し、協力した。
 - 3) 埋蔵量フォーラム
 - a) 埋蔵量の定義である SEC 基準と WPC-SPE 基準の相違点と問題点について調査、検討した。
 - b) 上記の調査、検討成果を、資源講演会にて報告した。
- (2) 精製部会 (プロセス, 製油, 環境)
- 1) 平成19年10月12日(金)に平成19年度精製講演会を企画し、実施した。
 - 2) 平成20年2月1日(金)に第33回精製パネル討論会を企画し、実施した。
 - 3) 第32回精製パネル討論会会議録〔平成19年2月2日(金)開催〕を平成19年6月22日に発行した。
 - 4) 平成19年7月6日(金)に室蘭市の新日本石油(株)改質硫黄固化体プラントおよび新日本石油精製(株)室蘭製油所の見学会を実施した。
- (3) 石油化学部会 (グリーンプロセス, ケミカルプロダクツ, 触媒, バイオテクノロジー)
- 1) 平成19年10月25日(木)、26日(金)に開催された「第37回石油・石油化学討論会」において「石油・石油化学における新しい触媒技術」「石油・石油化学産業とバイオ技術」「グリーンプロセス」「ケミカルズ合成技術の新展開」「ポリマーオリゴメリゼーション」のセッションを企画し、協力した。
 - 2) 平成19年12月3日(月)に触媒シンポジウム「バイオマスから化学製品の製造」を企画し、実施した。
 - 3) 次のテーマで専門の講師を招き、勉強会を実施した。
 - *イオン液体研究の広がり (横浜国立大学 教授 渡邊正義氏)
 - *グリーンケミストリーにおけるJCIIの最近の取り組み(化学技術戦略推進機構・武安弘光氏)
- (4) 製品部会 (分析, 試験, 製品開発, 環境)
- 1) 平成19年11月29日(木)、30日(金)に2007石油製品討論会「最新の環境対応石油製品開発動向と分析評価技術の進展」を企画し、実施した。
 - 2) ガソリン分科会
 - a) (株)石油産業技術研究所から「国産乗用車の運転性試験」について受託し、調査・試験を実施した。
 - b) CFRオクタン価のリサーチ法およびモータ法JIS規格改定作業に協力した。
 - c) JPI-5R-5-93 [リサーチ法及びモータ法オクタン価測定マニュアル] の見直しを実施した。
 - 3) 燃料油分科会
 - a) (株)石油産業技術研究所から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し、調査・試験を実施した。
 - b) 上記成果を(社)自動車技術会論文誌にて報告し、第57回自動車技術会賞論文賞を受賞した。
 - c) CFRセタン価測定方法のJIS規格改定作業に協力した。
 - d) 第16回CFRセタン価照合試験を行った。
 - 4) 潤滑油分科会
 - a) JPI-5S-15-05「陸用ディーゼルエンジンピストン評価法」普及のため、平成19年11月1日(木)、2日(金)に第34回レイティングシンポジウムを開催した。
 - b) 自動車用ギヤ歯面損傷評価法のJPI規格作成のため、平成19年11月22日(木)に第6回ギヤ歯面レイティングシンポジウムを開催した。

- c) JPI規格を英文化する際に生じる問題点を調査した。
- d) ATFの色相について、評価方法の現状の問題点を明確にした。
- 5) アスファルト分科会
 - TLC/FID法によるアスファルト中の組成分析試験方法について検討した。
- 6) 絶縁油分科会
 - a) 平成19年6月8日(金)に「第27回絶縁油分科会研究発表会」を企画し、実施した。
 - b) 電気絶縁油のJISの規格改定について検討を行った。
 - c) 絶縁油関連の文献を調査し、最新情報の共有化を図った。
 - d) 絶縁油に関する海外規格の調査、検討を行った。
 - e) 絶縁油の体積抵抗率、誘電正接の測定法について問題点の抽出を行った。
 - f) 絶縁油の今後の課題および海外の動向について、講師を招いて勉強会を行った。
- 7) 試験分析分科会
 - a) FAME混合軽油の分析試験方法の規格化を検討した。
 - b) XRF試験法による添加元素および塩素分の分析法の検討を行った。
- (5) 装置部会 [装置, 機器, その他付帯設備, 配管, 材料 (腐食防食, 強度), 計装, 制御, 電気, 保全, 安全, 環境]
 - (5-1) 装置委員会
 - 1) 平成19年12月11日(火), 12日(水)に第38回装置研究討論会「設備の信頼性向上と工事管理の取組」を企画し、実施した。
 - 2) 機器分科会
 - a) 機器分科会関係の規格類の改訂, 見直しを実施した。
 - * JPI-7S-6-97 [塔類保温サポートリング] 見直し。
 - * JPI-7S-27-07 [炭素鋼製ノズル] 平成19年5月18日に改訂。
 - * JPI-7R-51-97 [空冷式熱交換器の構造] 見直し。
 - * JPI-7R-52-96 [横置容器サドル周り強度計算] 見直し。
 - * JPI-7R-53-96 [横置容器サドル] 見直し。
 - b) 回転機専門委員会にて次の活動を実施した。
 - * 遠心ポンプ製作時試験検査指針の作成を検討した。
 - * 平成19年9月28日(金)に第7回 回転機研究討論会を企画し、実施した。
 - 3) 配管分科会
 - a) 配管基準専門委員会, バルブ専門委員会, フランジ専門委員会, ガasket専門委員会, 管および管継手専門委員会を配管分科会の下部組織とし, 次の規格の改訂・見直しを実施した。
 - * JPI-7S-14-97 [石油工業配管用アーク溶接鋼管] 見直し。
 - * JPI-7S-18-97 [配管用モルタルライニング] 見直し。
 - * JPI-7S-36-07 [鋼製小形弁] 平成19年9月15日に改訂。
 - * JPI-7S-37-07 [鋳鉄製フランジ形外ねじウエッジ仕切弁] 平成19年9月14日に改訂。
 - * JPI-7S-43-01 [石油工業用大口径フランジ] 見直し。
 - * JPI-7S-46-07 [鋳鋼製フランジ形及び突合せ溶接形弁] 平成19年9月14日に改訂。
 - * JPI-7S-48-07 [鋼製フランジ形ボール弁] 平成19年9月15日に改訂。
 - * JPI-7S-57-07 [軽量形鋼製小形弁 (50A {2B} 以下) (クラス150~800)] 平成19年9月14日に改訂。
 - * JPI-7S-58-07 [ステンレス鋼鋳鋼製フランジ形軽量耐食弁] 平成19年9月15日に改訂。
 - * JPI-7S-69-07 [軽量形鋼製弁 (65A {2 $\frac{1}{2}$ B} 以上) (クラス150~2500)] 平成19年9月

14日に改訂。

- * JPI-7S-73-00 [石油工業用オリフィスフランジ] 見直し。
- * JPI-7S-77-02 [石油工業用プラントの配管基準] 見直し。
- * JPI-7S-82-07 [鋼製小形高压弁] 平成19年9月14日に改訂。
- * JPI-7S-83-07 [石油工業用バタフライ弁] 平成19年9月14日に改訂。
- * JPI-7S-84-96 [石油工業用鋼製ボス, ブランチアウトレット及びプラグ] 見直し。
- * JPI-7S-90-02 [管の曲げ加工] 見直し。

b) 平成19年4月27日(金)に第9回配管技術セミナーを企画し, 実施した。

4) 設備保全分科会

a) 平成19年9月25日(火)に第20回設備保全分科会シンポジウム「クーラーの設備管理と信頼性向上について」を企画し, 実施した。

b) 平成19年11月15日(木), 16日(金)に日本海石油(株)富山製油所ならびに北陸電力(株)富山新港火力発電所の見学を行い, 「温度計保護管のメタルダスティング」「腐食防食技術コンサルティングに必要不可欠な分析技術」に関する情報交換を行った。

c) 次の事例紹介・技術紹介・情報交換を行った。

* NACE CORROSION 2007 Conferenceのトピックス紹介

* 最近の検査技術について: AE によるタンク底板の腐食監視システム, AE による加熱炉管のコーキング検査方法, 600℃の高温まで肉厚測定が可能な超音波センサーの開発, ガイドウエーブ法による長距離配管の検査, TOFD 法による溶接部の欠陥検出。

* 耐 HIC 鋼の採用と入手方法およびチタンチューブの選定について

5) 計装分科会

a) 平成20年3月5日(水)に「第25回計装研究討論会」を企画し, 実施した。

b) 計装関連規格の改訂作業要領を新たに作成し, 承認した。

c) 次の勉強会準備, 見学会, アンケートを行った。

* 改正防爆指針の勉強会の準備作業を行った。

* 平成19年11月8日(木)にJAXA種子島宇宙センターの見学会を実施した。

* 「技術伝承」に関するアンケート調査を実施し, 結果を「第25回計装研究討論会」のパネルディスカッションに反映させた。

6) 電気分科会

a) 平成20年1月28日(月)に第8回電気研究討論会「電気設備のトラブル事例と考察」を企画し, 実施した。

b) 次の研究会, 見学会, アンケートを行った。

* 産業用電力系統連系技術の高度化に関する調査を行い, 成果を第8回電気研究討論会で報告した。

* 電気維持規格分科会作成のJPI-8S-4 (電気設備維持規格) の見直しを実施した。

* 材料メーカーと工事業者を対象に, 新技術・新工法に関するアンケート調査を実施した。

* 平成19年11月8日(木), 9日(金)に九州石油(株)大分製油所および九州電力(株)八丁原地熱発電所の設備見学会を実施した。

7) 保安分科会

石油学会の環境, 安全に関する課題, 検討事項の受け皿として, 保安分科会を継続させることを前提に, 今後の進め方を討議した。

(5-2) 設備維持規格委員会

1) 配管・設備維持規格合同分科会, 回転機維持規格分科会, 電気維持規格分科会, 計装維持

規格分科会, 屋外タンク維持規格分科会を下部組織とし, 次の規格類の制定, 改訂, 追補, 見直しを実施した。

- * JPI-8S-1-07 [配管維持規格] 平成19年5月18日に改訂。平成19年12月17日HP上で追補を公開。
 - * JPI-8S-2-06 [設備維持規格] 平成19年12月17日HP上で追補を公開。
 - * JPI-8S-3-05 [回転機維持規格] 見直し。
 - * JPI-8S-4-06 [電気設備維持規格] 平成19年11月13日, 12月20日および平成20年1月18日HP上で訂正を公開。
 - * JPI-8S-5-06 [計装設備維持規格] 平成19年9月27日HP上で追補および訂正を公開。
 - * JPI-8R-11-06 [防食管理] 平成19年12月17日HP上で追補を公開。
 - * JPI-8R-14-07 [耐圧気密試験] 平成19年5月18日に改訂。
 - * JPI-8R-15-08 [フランジ・ボルトの締付管理] 平成20年3月19日に改訂。
- 2) 新たに「屋外タンク維持規格」を制定することを目的に, 8月に分科会を発足させ, 活動を開始した。

(6) 経営情報部会 (経済, 統計, 経営, OR, 情報, システム, 環境)

- 1) 平成18年度のWG活動成果報告をペトロテック誌 (5月号, 6月号) およびHPに掲載した。
- 2) 下記のWGを設け, 調査・検討を行った。
 - a) 「災害時の連絡方法, バックアップ方法, 通信等のリスクの考え方に関する調査」
 - b) 「予防保全システムに関する調査」
- 3) 平成20年4月15日(火)に上記2WGの活動報告会を実施した。
- 4) 下記, 部会内講演会を企画し, 実施した。
 - a) IEC62264 “経営システムと製造システムとの連携” における製造実行管理モデル
(平成19年10月31日実施) 東京農工大学大学院共生科学技術研究院 助教・北島 禎二氏
 - b) 保全アクティビティモデルの構築 (平成20年1月10日実施)
東京工業大学化学工学専攻 准教授・洸野 哲郎氏

(7) 新エネルギー部会 (エネルギー, 地球環境問題)

- 1) 平成19年7月6日(金)に新エネルギー部会講演会「サステイナブル社会を支える新燃料の技術開発ー輸送用新燃料の展望と技術開発動向ー」を企画し, 実施した。
- 2) 水素・燃料電池分科会
(財)石油産業活性化センターからの依頼により「将来型燃料高度利用研究開発事業」の下記テーマについて調査協力を行った。
 - * シリカ系高温水素分離膜の開発 (芝浦工業大学 講師・野村 幹弘氏)
 - * 炭化水素ガスを燃料とする SOFC 用燃料極の最適設計 (東北大学 教授・川田 達也氏)
 - * 石油系炭化水素改質ガスの直接使用を可能とする酸化物 PEFC 用アノード開発 (北海道大学 准教授・竹口 竜弥氏)
- 3) 次世代バイオ燃料分科会準備委員会
次世代バイオ燃料分科会設立に向け, 活動内容・方針の検討を行った。

10. 認証部門

(1) 溶接士の認定事業

- 1) 本年度の新規認定者数は920名で, 現在までの累計認定者数は132,815名である。
- 2) JPI-7S-31-07 [溶接士技量検定基準(石油工業関係)] を平成19年10月1日に改訂した。改訂検

定基準では、FS種とHS種を廃止するとともに、JPI資格13種の書類審査を廃止し、JISの適合性証明書をJPI資格に読み替えて作業できることとした。

- 3) 実技試験を伴うJPI規格4種の免許証発行業務を、平成20年6月から(社)日本溶接協会(JWES)に移管することで、学会内およびJWESの合意を得た。

(2) 標準物質の認定事業

- 1) 本年度の認定数は次のとおりである。

硫黄分	2,125
窒素分	234
ニッケル・バナジウム分	43
FIA用	8
軽油硫黄分	607
標準ガソリン	102
流動点	58
引火点	1,131
合 計	4,308

- 2) 引火点試験方法のJIS規格改定に伴い、新たに引火点標準物質の認証を行った。

(3) 設備維持管理士認定事業

- 1) 設備維持規格(回転機)の講習会を平成20年1月21日(月)に東京、1月28日(月)に大阪で実施した。
- 2) 設備維持規格(計装)の講習会を平成20年1月21日(月)に東京、1月28日(月)に大阪で実施した。
- 3) 設備維持規格(電気)の講習会を平成20年1月22日(火)に東京、1月29日(火)に大阪で実施した。
- 4) 設備維持規格(配管・設備)の講習会を平成20年1月22日(火)に東京、1月28日(月)に大阪で実施した。
- 5) 設備維持管理士認定試験を平成20年2月17日(日)に東京および大阪にて実施した。その結果、設備維持管理士(配管・設備)として42名(受験者数157名)、設備維持管理士(回転機)として18名(受験者数66名)、設備維持管理士(電気設備)として20名(受験者数57名)、設備維持管理士(計装設備)として52名(受験者数99名)を認定した。

11. その他

平成20年度に実施する創立50周年記念事業を検討するため、実行委員会、各種小委員会、各種グループ委員会を開催した。